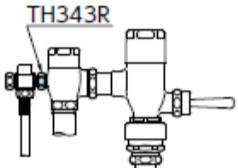
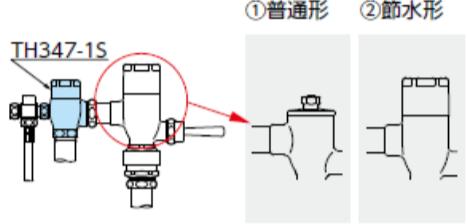
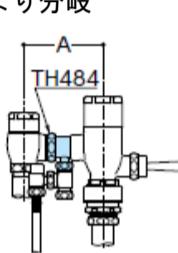


ウォシュレットの給水形態にあわせ、各種「分岐金具」をご用意しています。

「フラッシュバルブ」から分岐する場合		「専用止水栓」を設ける場合【※2】		
止水栓側面に ウォシュレット用取付口 のあるタイプ   ウォシュレット用 取付口	止水栓側面に ウォシュレット用取付口のないタイプ  	—		
施工方法 (イメージ)  	止水栓部を組み替えて分岐   ①普通形 ②節水形	止水栓と フラッシュバルブ本体の 間より分岐  		
必要分岐金具 (別売品)   TH343R 【※3】	①普通形 T150型／TV150型  TH502-1N 【※3】	②節水形 TV750型  TH347-1N 【※3】 【※4】	普通形・節水形   TH484 【※1】	TH484 V3

【※1】 以下のフラッシュバルブには接続できません。

- ・ウォシュレット取付口付フラッシュバルブ
- ・「A」寸法が120mm以外のフラッシュバルブ
- ・製造年月日が2001年1月以降のフラッシュバルブ《理由：ねじの種類が異なるため》
- ・製造年月日が2000年以前のもので本体一式を補修品番（TH317N／TH345R／TH346R／TH503N）に取り替えているもの

別途、専用工具（TZ115-3S）が必要です。

既設のフラッシュバルブにウォシュレット分岐金具（TH484）が設置されている場合は、  
ウォシュレットに同梱される分岐金具でのみ施工できます。

【※2】 再生水や飲用可能な井戸水の場合は、専用止水栓を設けて上水を給水してください。

【※3】 ウォシュレットの分岐金具が取り付けできるスペースの確保が必要です。

【※4】 TV750型の壁給水でクッション付が必要な場合は止水栓ユニット（TH5G0114）を手配ください。

銅管仕様の分岐金具（TN54-9）が付いている現場で、フレキホース仕様のウォシュレットに交換する場合は  
TH484への取り替えが必要です。

